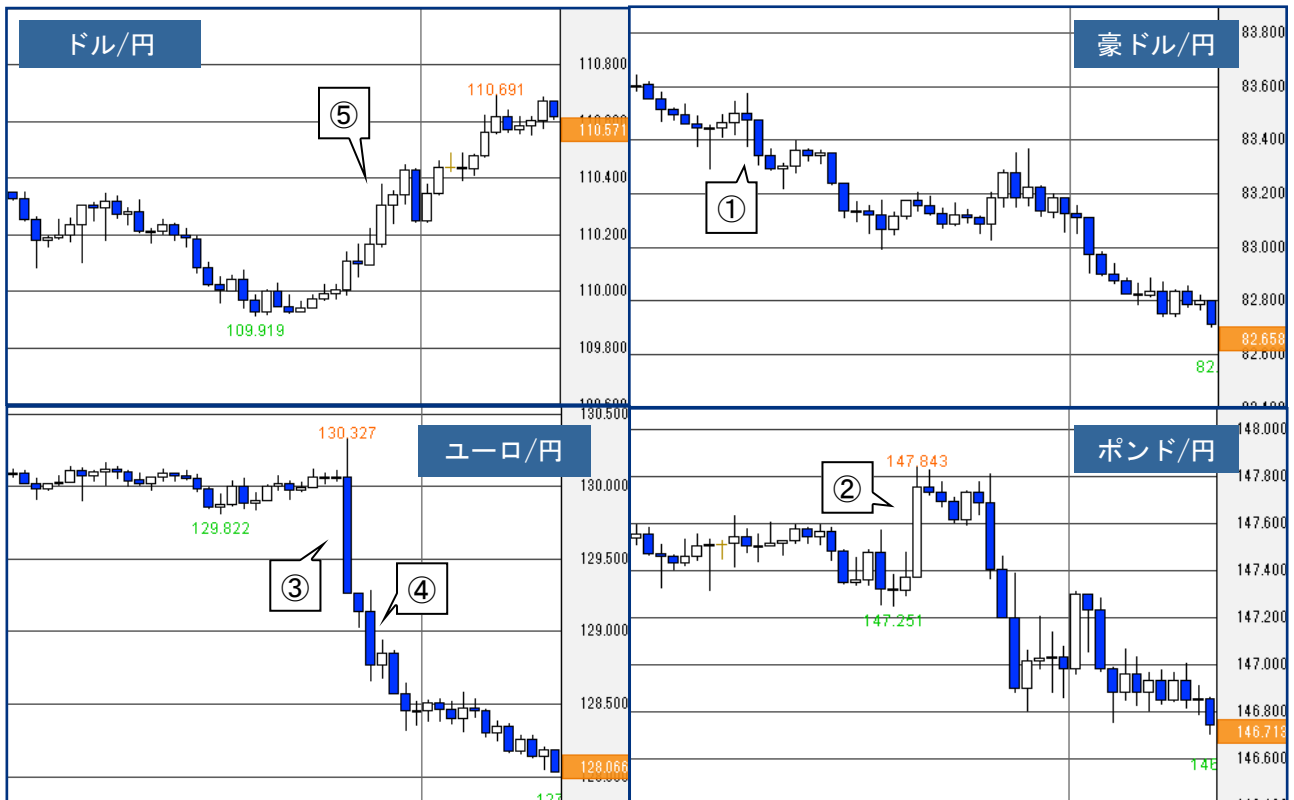


6月15日(金曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

日米欧の金融政策スタンス格差が鮮明に

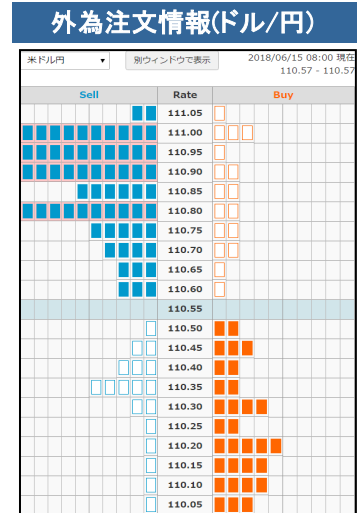
14日(木)の為替相場



期間：14日(木)午前6時10分～15日(金)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪5月雇用統計は就業者数が1.20万人増にとどまり予想(1.90万人増)を下回った一方、失業率は5.4%に改善(前回5.6%、予想5.5%)した。就業者数の内訳で正規雇用が減少していた事もあって、やや豪ドル安に振れた。豪ドルは、その後の中国5月鉱工業生産(前年比+6.8%、予想+7.0%)でも売られた。
- ② 英5月小売売上高が前月比+1.3%と予想(+0.5%)を上回ると、一時ポンド買いが強まった。
- ③ 欧州中銀(ECB)は政策金利の据置きと同時に発表した声明で、現行月額300億ユーロの資産買入れを10月から150億ユーロに減額した上で、12月末で終了させると発表。一方で「政策金利は少なくとも2019年夏まで据え置き」「保有債券の償還元本を必要な限り再投資」などとして、量的緩和終了後も早急に引締めには動かない方針を示した。これを受けてユーロは買い先行後に急落するという荒れ模様の展開となった。
- ④ ドラギECB総裁は会見で「インフレの調整にかなり進展が見られる」「インフレを巡る不確実性は後退」などと述べて量的緩和の年内終了を正当化した一方、「ECBは利上げ時期を協議しなかった」「見通しに対して存在するリスクを軽視したくない」などとして慎重な姿勢を強調。これを受けてユーロは続落した。
- ⑤ 米5月小売売上高は前月比+0.8%と市場予想(+0.4%)を大幅に上回り、今年最高の伸び率を記録。変動の大きい自動車を除いた売上高も前月比+0.9%と大幅に伸びた(予想+0.5%)。また、米新規失業保険申請件数は21.8万件となり、予想(22.3万件)に反して前週(22.2万件)から改善した。

14日(木)の株・債券・商品市場				
日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22738.61 ▼227.77	6016.635 ▼6.898	3044.160 ▼5.636	7765.79 △62.08	13107.1 △216.52
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
25175.31 ▼25.89	0.0430% ▼0.0110	2.722% ▼0.054	1.334% ▼0.035	0.426% ▼0.056
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.5635% ▼0.0040	2.9351% ▼0.0312	66.89 △0.25	1308.30 △7.00	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.000-111.300	127.400-128.900	82.100-83.200	146.000-147.500

【ドル/円】

昨日のドル/円は110円台後半へと反発。米5月小売売上高の好結果に加え、対ユーロでドル高が進んだ影響も大きかった。昨日は、欧州中銀(ECB)が量的緩和の年内終了を決めながらも早期の利上げには慎重な姿勢を強調した事でユーロ安(ドル高)が進行。一昨日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で米景気の先行きに強気な見方を示し、年内の利上げペース加速を示唆した米連邦準備制度理事会(FRB)とのスタンスの違いが浮き彫りになった格好だ。

本日は日銀金融政策決定会合に注目したい。日銀はコアインフレ率が目標の半分にも届かない現状において、(金融緩和からの)出口の議論すら「時期尚早」との見解を維持する公算が大きい。黒田総裁が大規模緩和を粘り強く維持する姿勢を強調すれば、米FRBは言うに及ばず、ECBと比べてもハト派的なスタンスが際立つ事になるだろう。

米中貿易戦争への懸念などから、市場がリスク回避ムードに傾く事がなければ、金融政策スタンスのコントラストから円が売られやすくなりそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント ※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
6/15(金)	未定	○	(日) 日銀金融政策決定会合	—	—
	15:30	◎	(日) 黒田日銀総裁、定例記者会見	—	—
	17:30		(ユーロ圏) ノボトニー・オーストリア中銀総裁、講演	—	—
	17:45		(ユーロ圏) ケーレECB理事、講演	—	—
	18:00		(ユーロ圏) 4月貿易収支(季調前)	+269億EUR	—
	18:00		(ユーロ圏) 5月消費者物価指数(HICP)・確報(前年比)	+1.2%	+1.9%
	21:30	○	(米) 6月NY連銀製造業景況指数	20.10	18.80
	22:15	◎	(米) 5月鉱工業生産(前月比)	+0.7%	+0.2%
	22:15		(米) 5月設備稼働率	78.0%	78.1%
	23:00	○	(米) 6月ミシガン大消費者信頼感指数・速報	98.0	98.5
	26:30		(米) カプラン・ダラス連銀総裁、講演	—	—
	29:00		(米) 4月対米証券投資	+618億USD	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。